

押釦式磁石電話機

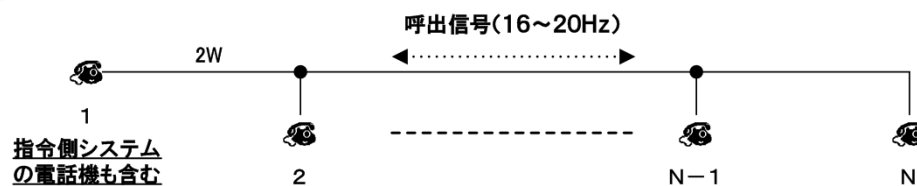


特徴

押釦を押すと呼出信号(16Hz)を回線に送出します。
呼出信号を送出している時は、受話器で聞いて確認できます。
呼出信号を受信すると電子音の鳴動と呼出ランプの点灯で表示します。
電子音の音量は、設定により切り替えることができます。
送受器の音量は、スイッチで切り替えることができます。
モニタ釦を押すとモニタランプが点灯し、回線のモニタができます。

<磁石式電話機の運用方法について>

- ☆2線式のメタリック回線で磁石式電話機(TL-1041)を接続することにより通話が可能となります。
- ☆1対1又は1対Nで並列に接続します。
- ☆個別に呼び出して1対1で通話ができます。
- ☆発呼者は、押釦を押して呼出信号を送出して被呼者電話機の呼出音を鳴動させます。
- ☆呼出信号には16~20Hzの信号を使用します。
- ☆被呼者は、送受器を上げて音声応答し相互通話を行います。
- ☆一般に接続の場合は、呼出信号の長・短の組合せで相手先を呼び分けます。
指令側へは、3秒程度の連続信号(長信号)にて呼出を行います。



機器仕様

項目		内容
品名		押釦式磁石電話機
型名		TL-1041
使用電源		DC6V
通話特性		41M磁石電話機相当
呼出信号	発信周波数	20Hz
	出力電力	1.3W以上
	検出電圧	30V以上
回線モニタ		出力200mW 入力-20dBm
外形寸法		150mm(W) × 232mm(D) × 106mm(H)
色		ダークグレイ